

製品名: フィブロネクチンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87318**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,FC 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:263 kDa; Observed MW:263 kDa

抗原情報

遺伝子名	Fibronectin
別名	FN; CIG; FNZ; MSF; ED-B; FINC; GFND; LETS; GFND2; SMDCF
遺伝子ID	2335
SwissProt ID	P02751
免疫原	ヒトフィブロネクチンの合成ペプチド

背景

この遺伝子は、血漿中では可溶性の二量体として、細胞表面および細胞外マトリックス中では二量体または多量体として存在する糖

タンパク質であるフィブロネクチンをコードしています。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって成熟タンパク質を生成します。フィブロネクチンは、胚発生、創傷治癒、血液凝固、宿主防御、転移などの細胞接着および遊走過程に関与しています。この遺伝子は選択的スプライシングを受ける3つの領域を有し、20種類の転写バリエーションを生成する可能性があります。そのうち少なくとも1つは、タンパク質分解によるプロセッシングを受けるアイソフォームをコードしています。一部のバリエーションの全長は未解明です。[RefSeq 提供、2016年1月]

研究分野

-

画像データ



フィブロネクチンウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した 3T3 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。